

Moment to Remember



忘れられない思い出に

同じ時を過ごし

新しい仲間と共に

2024年8月11日サマーキャンプ（富士見高原・創造の森にて）

川崎区地域教育会議だより

らしんばん

2024年12月1日発行
第58号

川崎区子ども会議 サマーキャンプ

2024

in 八ヶ岳少年自然の家

推しイベント紹介



推し 1 野外炊飯(バーベキュー)

まず調理と火起こしグループに分かれます。調理グループでは包丁を初めて使う子やタマネギで目がしみる子。火起こしグループはマッチを初めて使う子や炭にうまく火が付かない子。いろんな初めての体験にみんなワイワイ賑やかでした。

推し 2 テーマ別活動(工作)

テーマ別活動はサマキャンメインの一つ。テーマ(秘密基地・工作・遊び・まったり・自然観察)に分かれて行いました。右の写真は工作活動。自然の傾斜を生かした遊び。プラスチック段ボールを使って作ったピタゴラスイッチ。テニスボールを転がして最後は池ポチャ。



推し 3 肝試し

夜は待ちに待った『きもだめし』。3~5人グループに分かれて夜の森を歩きます。電灯は一人しか持っていません。みんな最初はおっかなびっくり、でも友達に励まされたり好奇心が恐怖に打ち勝ち、わくわくして旅立つ子も。お化け役は『キャー』という声に少し罪悪感...

推し 4 キャンプファイヤー

キャンプファイヤーは火を囲むだけの会ではありません。火の神様の儀式やゲーム・歌・ダンスで盛り上がる一大イベントです。イベント終了後はみんなで頭上に輝く満点の星空を見上げ、キャンプの思い出をしっかりと噛みしめていました。



このサマーキャンプで仲間になった子どもたちの『輪』が
未来の川崎区を築きあげて行って欲しいという願いが
地域教育会議として大事に想っていることのひとつです。

川崎区地域教育会議 設立30周年を迎えて

2024

今年度の『教育を語るつどい』では
いままでの足跡を振り返ります



歴史

30年の振り返り

設立総会でスタート 委員35名

「市民の自主的・民主的な組織として子どもたちの健全育成、および市民の生涯学習推進のために教育における住民自治を目指します」と規約に定義

1994

10年間、
地域交流イベント
「お散歩コンサート」
「ふれあいフェスタ」
を開催

2000

調査研究活動
『よいことさがし』
発行
区内の福祉的ポラン
ティア活動にスポッ
トを当てた

2001

・八ヶ岳少年自然の
家で毎年サマキャン
・居場所イベント
『子ども会議
アクション』
『ユニセフ募金』

2002

「高校生の
アルバイト」
をテーマに高校生と
対話集会
2003年に
教育長に提言

2007

いじめテーマの映画
「ハードル」
上映会主催
区PTAの協力で1300
人の参加
教育長へ「いじめ」
で提言

2024

川崎区に 夢パークを

- ・富士見公園改修計画
子どもの意見書提出
- ・2011年冒険遊び場で
川崎市議会主旨採択
- ・2019年いきいき提案事業
「パークチャレンジ
かわさき」
- ・2024年富士見公園の一角
「冒険土の広場」完成

夢ある未来へ

先人より

富士見中学校 元校長 青木幸夫さまのお言葉



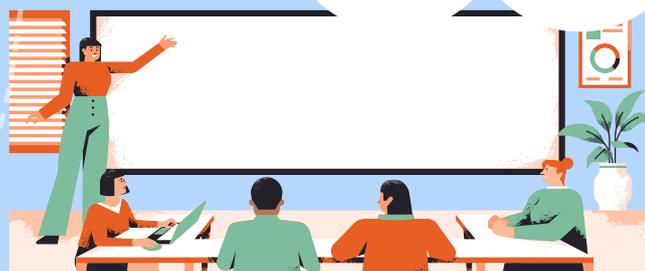
地域教育会議の発足に
ご尽力頂いた方に
インタビューしました。

『地域教育会議に思う』

長く教職にありましたが、今更ながら教育とは何かと自問しています。教育をそのまま読めば「教える」となりますが、「上から目線」のニュアンスの強い語彙だと感じることがあります。私自身、教える者として、上から目線で子供たちと接してきたことが多々あったように思います。しかし振り返ってみると、どれほど子供から教えられ、元気づけられ、助けられてきたことでしょうか……。教育というものの中身をもっと深く受け止め、考えなければいけないと、つくづく思うこのごろです。

川崎市では、1984年に教育推進事業の一つとして「川崎の教育を考える市民会議」が開催され、教育の在り方についての調査・研究が進められました。それが「いきいきとした川崎の教育をめざして」として報告され、今日の地域教育会議の創設へとつながっていったのです。より広く深く地域教育会議活動の存在を、その意義を伝え、子供たちと共に育つ(成長する)川崎を目指していきたいものです。

地教からのご案内



30年の見つめ直しと 新たな挑戦

案内 1 教育を語るつどい

〈詳細〉

日時：2025年2月1日（土）

午後2時～4時

会場：教育文化会館 6F大会議室

内容：①映像付きの30年振り返りのプレゼン
②会場交えてパネルディスカッション

入場料：無料

申込方法：当日、直接会場にお越しください

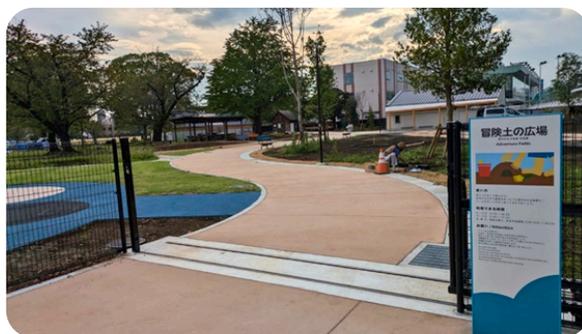
『地域教育会議にける思い』

行政、教育委員会と市民の協働という他都市に類を見ない地域教育組織として発足して30年。発足当初の大きな期待を背負って、教育行政に市民が参画するという新しい仕組みがスタートしました。振り返ると、議長の選出で立候補者が出て、選挙になったこともありました。市民参加の情熱を維持し続けることの難しさを感じた30年でもありました。当初の状況は青少年が血気盛んな行為で1年間で25万人が検挙された時期でしたが、今は不登校生30万人の時代での新しい課題に直面しています。30年の節目に、これまで関わりを持っていただいた方々と振り返りながら、これからの地域教育会議の夢ある未来について語り合いたいと思っています。

川崎区地域教育会議 議長 宮越隆夫

案内 2 冒険士の広場が誕生

かねてからの私たちの願い、川崎区に冒険遊び場がついに誕生します。場所は秋の緑化フェアの会場跡地、以前富士見公園のはぐくみの里のあった付近です。「泥んこになって遊んだり、自分たちの手で遊具を作ったり、遊び方は無限大！」（入口看板の案内文）みんなの広場です。他の人の迷惑にならないルールで思いっきり楽しい広場にしていきたいと思います。私たち川崎区地域教育会議と子ども会議は皆さんの「やりたい」を応援します。



案内 3 住民委員募集について

川崎区地域教育会議は「子どもがいきいき育つまち、おとなも楽しく学べるまち」を目指し、行政、学校・家庭・地域住民が話し合い、区内の子育てや生涯学習のネットワークづくりと教育への市民参加のシステムづくりを行い、中学校区と連携し行政区での教育力向上に向けた活動をしています。

委員は公募で選出される「住民委員」、教育関係団体から選出される「団体委員」、学校・行政関係代表の「非選出委員」によって構成されています。

ぜひ地域教育会議にご参加ください。

【応募資格】

15歳以上の川崎区に在住・在勤の方
川崎区民5名の推薦を受けられる方

【任期】

令和7年度

【応募期限】

令和7年3月末日必着

【応募方法】

教育文化会館（044-2333-6361）に
お問い合わせください。